

秋祭り特大号

主権
在客

ようざん通信

グループホームようざん倉賀野がオープンしました

朝夕冷え込む季節になりました。コスモスの花が秋風に揺れ、木々の葉も色づいて日ごとに秋の深まりを感じる今日この頃です。グループホームようざん倉賀野は11月1日開設いたしました。10月中は開設準備をみんなでいながら、職員一同利用者様を心待ちにしておりました。利用者様にとって環境が変わるということは大変なことです。入所に対して不安の声もありました。その反面「ここに来たら絵を描きたい・習字も習いたい・みんなと歌を唄いたい・体操をしてたくさん体を動かしたい」と笑顔で話して下さった方々もいました。そんな声に私たち職員は一日でも早く慣れるようにお手伝いさせて頂きたいと思います。グループホームは認知症ケアの1つの理想形とも言われています。一人ひとりのペースに合わせた生活が送れるように、そして、落ち着いた暮らしが出来ることを願っています。私たち職員も新しい家族として地域に馴染めるようにがんばります。時々庭の花壇を眺めながら「何の花を植えようか?ドライブはどこへ行こうか?おやつに何を作ろうか?」と、楽しみにしています。寒さに向かう折から、皆様風邪などひかぬようお体を大切に。お近くに来た時は是非お立ち寄り下さい。お待ちしております。(グループホーム倉賀野 管理者 堤)



グループホームようざん倉賀野
群馬県高崎市倉賀野町2194-1
TEL 027-329-5743
FAX 027-381-5843

小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん双葉

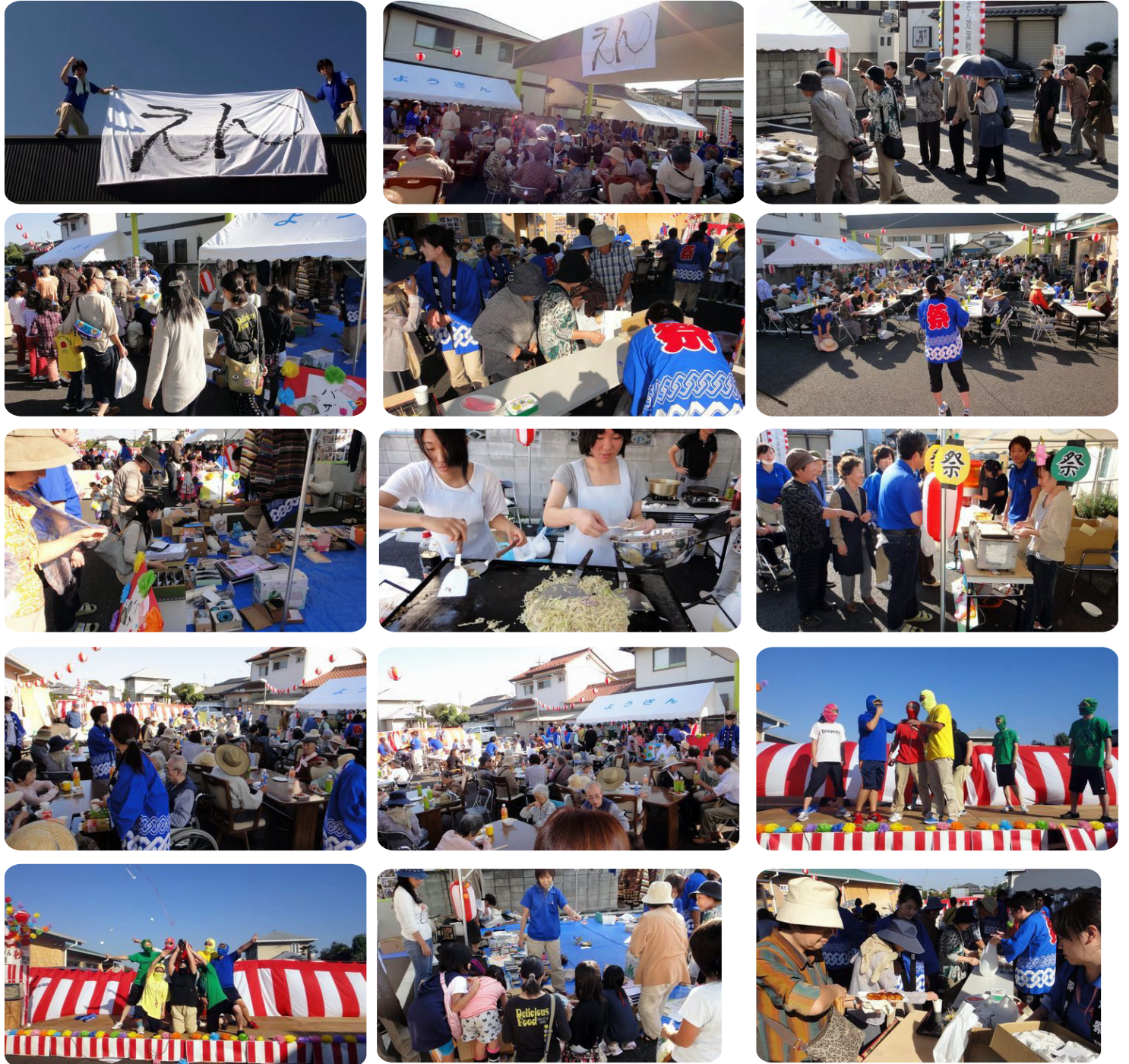


秋だというのに夏日になった10月16日。気温に負けなくらいに、ようざん双葉もアツ〜イ1日となりました。「今年のお祭りはいつなの?」と9月から地域の方に聞かれる程注目度が高い双葉の秋祭り。期待を裏切らないようにと職員にも気合が入ります。

そして当日・・・敷地内は人!人!!人!!! ようざん関係者の6倍はいたでしょうか?予想を超える地域の方々の来場にうれしい悲鳴が出ます。300人分の飲み物も1時間もしないうちに

無くなり、模擬店も全て終わってしまうほどの大盛況ぶりでした。これはようざん双葉のお祭りではなく、地域の秋祭りといった感じです。

これも常日頃からの地域の方々との交流の賜物なのでしょう。職員一同感謝感激です。恒例のバザーでは助六せんべい様よりお餅の提供があり、瞬く間に売り切れに。そして今年も職員手作りの芋ようかん「芋ようざん」が登場!こちらも好評で売切れになりました。ステージでは双葉町内の方の南京玉簾とドリフタバーズ(職員)による漫才で盛り上がり、来場者に参加していただいた「まめ拾い大会」でお祭りは最高潮に。拍手喝采だった職員によるソーラン節。そして皆で笑顔で踊った炭坑節で幕を閉じました。会場が1つになった本当に素晴らしいお祭りでした。最後になりましたが、駐車場を貸して下さった沖電気様。わたあめ機と材料を提供して下さったライフシステム様。正義の味方ケアレンジャー様。バザー品を提供して下さった方。そして来場して下さった方。お祭りに係わった全ての方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。(岡田)



スーパーデイようざん双葉

木の葉もだんだんと色付いて、日増しに秋の深まりを感じる今日この頃です。皆さまは、秋を楽しんでいますか？ 私たちスーパーデイようざん双葉では、色んな秋を満喫しています。散歩に出掛けると、どこからか金木犀の香りがして来て、「良い香りね。」「私この匂い好きなの。」など会話も弾み、とても穏やかな表情です。先日のドライブで行った、鼻高展望の丘、観音山ファミリーパークでは、コスモスやマリーゴールドがキレイに咲いていましたね。普段、あまり歩けない利用者様が、キレイに咲く花に誘われて、ゆっくりと散策し、「キレイね。連れて来てくれてありがとう。」と喜んで下さいました。自然の力はすごいです!!

次は、紅葉狩り行きましょうね。

また、10月16日には「双葉秋祭り」を行いました。当日は、10月にもかかわらず、気温 30℃。暑い中大勢の方にお越しいただき、おかげさまで活気ある秋祭りとなりました。利用者様も食欲の秋ということもあり、焼きまんじゅう、焼きそば、フランクフルトや豚汁など、美味しそうに食しながら、地域の方による南京玉すだれや、職員によるロックソーラン節をご覧になり、笑顔いっぱいの日となりました。ご協力くださいました皆さま方には、本当にありがとうございました。過ごしやすかった季節から、日毎に寒さが増して参りますが、これからも利用者様と共に四季を楽しみたいと思っています。(梨本)



ようざん双葉 第2回秋祭り

小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん栗崎

10月には、真夏を思わせるような日もありましたが、ここ最近、ようやく過ごしやすい季節になりました。ただ、朝晩と日中との温度差があり体調管理が難しくなっています。うがい・手洗いの励行やこまめな水分補給、衣類での調節で、利用者様はもちろんのこと、職員一同、体調管理に努めてまいります。

さて、秋といえば・・・読書、食欲、そう!!!スポーツの秋です。ということで、去る10月10日・体育の日に合同で、屋外にて運動会を行いました。競技のほうは、笑いあり!笑いあり?笑いあり!!で、とても楽しいひと時を過ごすことができました。終了時には、手作りのメダルを首にかけ、みなさんニコニコでした。晴れの特異日ということもあり、予想以上の晴天で日差しも強く、気温も上昇しましたが、2

回の給水タイムが功を奏し、体調を崩される方はいらっしゃいませんでした。

また、ドライブにも行き、日差しを浴び、風をうけ、景色を眺めながらお弁当を食べて、普段とは違う笑顔をたくさんみることができました。大人数でいると個別にふれあう時間が限られてしまいますが、外出時にはある程度少人数ですので、おひとりおひとりと関われる時間も自ずと多くなります。そこで利用者様の引き出しを開けるお手伝いをし、可能な限り、街並みや自然とふれあえるような外出ができれば良いと考えています。

今年も残り2ヶ月となりますが、何よりも利用者様の安全を第一に考え、より良いケアを目指していきます。(岡崎)



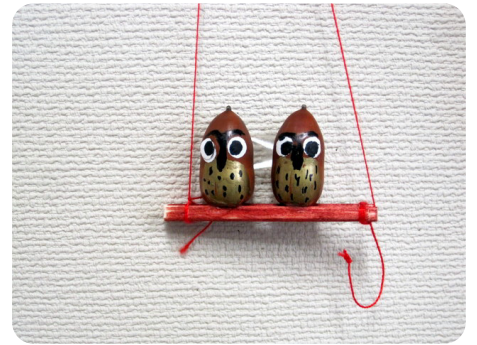
認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん栗崎

秋も深まり朝晩の冷え込みが厳しくなり、山々は徐々に赤や黄色に色づき紅葉が美しい季節になってまいりました。皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。“秋”といえばスポーツの秋!運動会のシーズンです。スーパーデイようざん栗崎では、10月10日の体育の日にケアサポートセンターようざん栗崎と合同で、『運動会』を行いました。秋晴れの空の下、上毛三山の【赤城】【榛名】【妙義】の3チームに分かれ大熱戦が繰り広げられました。それぞれのチームの利用者様代表者による、選手宣誓から始まった運動会は、“玉入れ”“パン食い競争”“お玉リレー”と続き白熱した戦いに「がんばれ〜!!」「急げ急げ〜!!」と利用者様と職員の声援が飛び交い笑顔が溢れる楽し

いひと時になりました。

また製作レクでは、ドライブの途中で拾ったどんぐりを使用して、“ふくろうの壁飾り”を利用者様と一緒に力を合わせて作り上げました。細かい作業に悪戦苦闘しましたが、その分出来上がった時の喜びは何十倍にも感じられました。それぞれに描いて頂いた“ふくろう”の顔は個性的で、なんとなくご自身のお顔に似ていたり、笑った顔、怒っているような顔などそれぞれに思い思いのものが完成し、お持ち帰り頂いてご自宅でも楽しんで頂ける作品に仕上がりました。毎日のレクリエーションを充実させ、利用者様おひとりおひとりに楽しく過ごして頂けるよう、明るく楽しいユニット作りを心掛け職員一同さらなる努力をして参ります。(小黒)



ようざん栗崎運動会

認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん飯塚



日ごとに涼しくなり、季節はすっかり秋になって参りました。秋といえば“食欲の秋”ですね。スーパーデイようざん飯塚でも、昼食に上州名物おきりこみづくりを行い、“食欲の秋”を楽しみました。県外からやってきた利用者様は初めておきりこみを見たようで、「こんな太い麺があるんですか!?’と驚かれていらっしゃいました。料理の中で一番大事な作業である味付けは、利用者様に味見をしてもらいながら行いました。さすがベテラン主婦の集まりだけあり、「塩が足りないね」「ダシをもっと入れた方がよいよ」など、次々と的確にアドバイスをして下さりました。その

結果、具の味やダシが絶妙に合わさった、とても美味しいおきりこみが出来上がりました。ご自分たちが作った美味しい名物は、お腹も心も満たしていたようでした。

また、秋は旅行シーズンという事で、澄みきった秋らしい空の日に鼻高展望台へコスモス見学へ行ってきました。コスモスや他の綺麗な花々を見学した後は、長坂牧場にも寄り、牧場自慢のアイスクリームに舌鼓を打たれていました。皆様笑顔で思い思いに楽しまれていらっしゃいました。帰り道には、「今日は色んな所へ行って良かった。子供が小さい頃は、毎年夏になると家族旅行へ行っていたんですよ」との思い出話を聞く事が出来ました。新しい旅の思い出が心の思い出を呼んだのだと思います。

今後も利用者様が持っている思い出を大切にしつつ、新しい思い出を積み重ねていき、皆様日々笑顔で健康に過ごしていただけるようケアに取り組んでいきたいと思ひます。(植原)



認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん貝沢

めっきり秋らしくなり秋桜の花も美しく咲き、紅葉の便りもあちらこちらから聞こえてくるようになりました。スーパーデイようざん貝沢では季節を身近に感じて頂きたいと梨園巡りとドライブ、ハロウィングッズの制作などいろいろな事を企画して行っています。その中でも、最大のイベント、スーパーデイとケアサポートセンター合同秋祭りが10月8日(土) 暑すぎるくらい晴天の中、開催されました。数週間前よりスタッフ一同、試行錯誤を繰り返しながら準備を進め、当日たくさんの方々に参加して頂く事が出来ました。健大生による和太鼓の演奏は、始まった途端、あまりの迫力に皆さんの表情が一瞬驚いているかのようにも見えましたが、すぐに会場全体が和太鼓の素晴らしい音に飲み込

まれていきました。美しい浴衣姿のスタッフによるマツケンサンバ!! マツケンに扮したスタッフ登場には大きな拍手が沸き起こりました。子供から大人まで全員参加のマルモリダンス、手作りやぐらを囲んでの東京音頭、利用者様が口一杯に頬張る焼きまんじゅう、カレー、豚汁、フランクフルト。秋晴れの中、楽しい祭りになり沢山の笑顔を見る事が出来ました。

利用者様に喜んで頂きたい一心で取り組んだ秋祭り、私たちスタッフも楽しめたからこそ利用者様にも楽しんで頂けたのではないのでしょうか。これからは「楽しかったよ。」「楽しかったね。」と、笑顔で会話できることを心がけ、企画し提供していきたいと思えます。(武井)



ようざん貝沢 第2回秋祭り

小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん貝沢



ようざん貝沢では、2ユニット合同で、10月8日に秋祭りを開催いたしました。お祭りに向けて、利用者様の協力をいただきお神輿を作成したり、ちょうちんや花飾りなどで会場を一層にぎやかに飾りました。当日は、秋晴れで暑いぐらいの陽気の中、高崎健康福祉大学短

大部の方々による和太鼓の力強い演奏から華々しく始まりました。また、貝沢プリティーガールズによるマツケンサンバや、大勢の子どもたちが飛び入りで参加して頂いた元気いっぱいのマルモリダンス、利用者様とスタッフみんなで踊った東京音頭など、会場は笑顔であふれていました。

昼食には、スタッフが心を込めて作ったカレーにとん汁、またお祭りには屋台!ということで、フランクフルトや焼きまんじゅうが振る舞われ、皆様、お腹一杯になられていたようです。更に会場全員で、参加したビンゴ大会では大盛り上がりでした。

地域の皆様には多くのご参加とご協力をいただき、大変にぎやかで楽しいお祭りとなりました。また来年もパワーアップした秋まつりの開催を目標に頑張っていきたいと思っております。(鈴木)



認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん石原

朝晩だいぶ冷え込むようになった今日この頃、早いもので今年もあと2か月を残すだけとなりました。みなさん体調を崩さないように今年いっぱいを乗り切りましょう。

さて、スーパーデイようざん石原の企画は目白押しです。まず、ドライブでは10月の1週目に、鼻高展望台「花の丘」へコスモスを見に行き、その帰りに長坂牧場でアイスクリームを食べて来るというツアーを開きました。利用者様みなさん、「おいしいね」と言われ喜んでくださいました。その他には、前橋バラ園に行きたくさんのバラを見たり、温室に入ったりして時々ほのかにバラの香りがして来て利用者様、職員共に癒されて帰って来ました。

10月の誕生日会では、おやつレクリエーションとして利用者様に頂いた栗を使って、ホットケーキを作りお祝いをしました。とても大きく甘〜い栗でした。

ランチレクリエーションとしては、お好み焼きをみんなで作って食べました。やっぱり、みんなで作って食べるとおいしいですね。

スーパーデイようざん石原では、利用者様、家族の皆様、みんなが明るく楽しく、元気に過ごされる事ができるように職員一同頑張っていますのでよろしくお願い致します。(猪熊)

【新しい職員の紹介】

吉田昌延 10月11日よりスーパーデイ石原に入職しました。一生懸命頑張ります。宜しくお願い致します。



小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん飯塚

すっかり、秋めいてきた今日この頃、季節の中で秋が一番好きです。スポーツの秋、読書の秋、なんとと言っても食欲の秋（私は一年中ですが・・・笑）。私事ですみませんm(-_-)m。

まずは食欲の秋!に相応しく、初の大イベント!『さんま祭り』を開催しました。グループホームようざん飯塚の利用者様と一緒に盛大に行いました。炭で焼いたさんまは勿論の事、豚汁、さつまいもご飯、キンピラ等々。外で食べると利用者様もいつもより食欲が進み「おいしいね。」と、とびきりの笑顔があちらこちらで見られました。

続いて、スポーツの秋!ケアサポートセンターようざん貝沢、スーパーデイようざん貝沢、スーパーデイようざん飯塚、グループホームようざん

ん飯塚合同で第1回ようざん飯塚大運動会も行いました。利用者様も童心にかえり足の痛さも忘れ!?顔に粉を付けながら一位を目指したマシュマロ拾い、一心不乱にパンにかじりついたパン食い競争、チーム皆で力を合わせ玉を入れた玉入れ、職員も必死にむかで競争を行い、見事、優勝することが出来ました!!今月はイベント目白押しのようざん飯塚でした。これからも、活気に溢れ楽しく居心地の良い空間、誰もが気軽に立ち寄れるそんなようざん飯塚にしていきたいと思います。ちなみに運動会に、偶然お散歩中だったおひさま保育園の園児達が飛び入り参加してくださいました。ありがとうございました。これからも、利用者様の喜ぶ顔がいっぱいに咲くようにイベントを考えていきます。(落合)



ようざん飯塚 運動会・さんま祭り

認知症対応型共同生活介護

グループホームようざん飯塚

暑い暑いと思っていましたら、急に肌寒くなってまいりました。皆様、風邪などひいておりませんか。

グループホームようざん飯塚では、下里見町の梨園に梨狩りに行ってまいりました。幸い秋晴れ、行きの車中ではご利用様との会話も弾み、あっという間に梨園に到着。皆様、旺盛な食欲で「美味しい!」「甘いね!」と梨を次々に召し上がり、お土産に木に実った梨をご自分でもいで、「大きいね〜」「重いね!」と笑顔を見せてくださいました。帰りの車中でも、「ここまできたのなら水沢うどんを食べに行きたいね。」と女学生の頃に食べに行った時のお話を下さり、次のお出かけを期待しておられるようでした。

また、10月14日にはケアサポートセンターようざん飯塚と合同で

「飯塚さんま祭り〜!」を開催しました。この日も秋晴れ!皆様、炭火で焼いたさんまにとん汁、サツマイモご飯を旺盛な食欲で召し上がり、口々に「こんなに美味しいさんまは初めて。」と笑顔で有難いお言葉をいただきました。実は、炭をおこして準備をしている時に、目の前で焼いているのを見てもらえたら楽しみも増えるだろうとケアサポートセンターようざん飯塚の管理者からの提案があり、さんまを囲むようにテーブルを設置。さんまからの煙や、さんまを焼く職員のパフォーマンスが見られたのも皆様の笑顔に一役かったのではないかとほくそ笑んでいます。次はどんなことをして楽しんで頂こうか秋の夜長またほくそ笑んでしまいそうです。これからの日々、ご利用者様の方はもちろん、職員も体調を崩さぬ様、気を付けてまいりたいと思います。(佐野)





ようざん並榎
 第5回秋祭り





短期入所生活介護

ショートステイようざん

～魔法の言葉～

皆さんはテンションの上がる魔法の言葉をご存知ですか？

この言葉をもし利用者様から頂けたら私はとてもテンションが上がります。そして元気になります。

この言葉を発するだけで投げかけられた相手だけでなく、発した本人もテンションが上がります。そして笑顔になります。

さらにこの言葉のやり取りを聞いていただけの第3者にも伝わりその場のテンションが上がっていきます。そして皆が安心してその場の雰囲気が良くなっていきます。

ショートステイでは毎週セブンイレブン矢中店さんのご理解、ご協力を頂き、利用者様の社会参加・地域社会への奉仕活動を目的として店舗で出たペットボトルなどの分別や、窓ふきなどの掃除をさせて頂いています。ここでも店員さんやお客様からこの言葉を頂くことが良くあります。活動を終えた利用者様はやはり笑顔です。

毎月恒例のようざん喫茶では、季節に合わせて新しいメニューを導入しながら秋晴れの空の下オープンカフェを実施しました。利用者様自ら好みのデザートやドリンクを写真付きメニューから選んで頂くことができます。

そこでも「あんみつ、うんと美味しかったよ!○○○○○!!」

との言葉を何人からも頂いています。

毎日2回のショートステイの申し送りという場では最近の生活上の振り返りで感謝の言葉を皆に伝えるということを恒例にしています。

ですから、私はこの言葉を貰うことができたなら心の中で「こちらこそ○○○○○」と笑顔で応えられるように日頃から心がけることにしています。

もったいつけてごめんなさい。

最後まで読んで頂いてありがとうございました。

そう、魔法の言葉とは「ありがとう」。(石原)


<http://www.youzan.jp/>

認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん

みなさんこんにちは！そして初めまして！10月よりスーパーデイようざんで管理者をさせて頂く事になりました、堀口淳【ほりぐちじゅん】と申します。と言っても、まだまだ不慣れな事ばかりで 周りの職員の方に助けられながら一歩ずつ階段を上り始めた所です。少しずつ階段を上って行きながら、現在ご利用して下さっているご利用者の方と同じ空間の中で、同じ時間を刻んで行ければと思います。その為に必要な事は何か？を全職員で考えながら、そして全員肩の力を抜いてリラックスした表情でご利用者の方と向き合えて行けたら・・・と考えています。

堅い話はこの位にしまして、10月のスーパーデイようざんの様子ですが、過ごし易い気候になり、より積極的に外での外気浴や散歩・ド

ライブにも頻繁に出かけています。外の空気は、ご利用者の方の表情を柔らかくしたり気分を変えてくれる一番身近な魔法です。今時期は、やはりコスモスの見学に出掛けます。一か所ではなく、複数の場所から選んで出かけたりしています。と同時に、室内では今、秋祭りに向けての準備で大忙しです。看板作製や踊り・歌の練習などなど。看板は職員+ご利用者のコラボレーションで現在佳境に入っています。そんな作製物に集中しながら、合間で職員がチョイチョイ冗談を言っでは皆さんを笑わせながら、和やかムードで行っています。そんな毎日が笑いのオンパレードのスーパーデイようざんに是非遊びにいらして下さい。遊びに来られる時は、くれぐれもハンカチをお持ち下さい。笑い過ぎて涙がとまりませんよ！（堀口）



小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん石原

秋も深まってきて、朝夕の冷え込みも厳しくなってきました。そろそろインフルエンザも心配になるこの季節、皆様はいかががお過ごしでしょうか。ケアサポートセンターようざん石原ではご利用者の体調に気を配りながら、散歩やドライブなど積極的に取り入れてコスモスや少し早い紅葉を見に行ったりと秋を満喫していただいています。特にようざん石原の近くには土手があり、そこを散歩するだけで秋の涼しい風を清々しい空を仰ぎながら感じる事ができてご利用者様にも人気の散歩コースになっています。

そして秋といえば、一大イベントである運動会を10月25日に盛大に開催することができました。紅白のチームに分かれボーリング、借

り物競争、玉入れ、パン食い競争を行いました。皆様一生懸命参加してくださり、ご自分の出番でなくても同じチームを楽しそうに応援されている姿もみられました。特にパン食い競争では当日のおやつがかかっているだけあって表情も真剣。パンを見事取ることができると嬉しそうな表情を浮かべていらっしゃいました。またご利用者様だけでなく職員も真剣。ご利用者様の前では恥はかけない!とつい熱くなってしまうました。最後は手作りのメダルをご利用者様にプレゼントさせていただきました。その時の表情は輝く金、銀メダルよりも輝いていて、そのお1人お1人のまぶしい笑顔に職員も癒された1日でした。

今後もようざん石原ではご利用者様と共に素敵な時間を過ごしていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。(堀口)



ようざん石原運動会

居宅介護支援事業所ようざん

今年もインフルエンザ流行の季節がやってきました。厚生労働省「インフルエンザの基礎知識」より抜粋し、日常生活での注意点と予防法をお知らせします。

・流行前にインフルエンザワクチンの接種をお勧めします。

(65才以上の方は市町村で補助制度があり、自己負担金千円で接種できる方がいます。)

インフルエンザは、インフルエンザにかかった人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫とともに放出されたウイルスを、のどや鼻から吸い込む事によって感染します。(飛沫感染) インフルエンザは感染しやすいので、インフルエンザにかかった人が無理をして仕事や学校へ行くと急速に感染を広げてしまう事になります。インフルエンザが流行ってきたら特に高齢者や慢性疾患を抱えている人、疲れ気味、睡眠不足の人は、人込みや繁華街の外出は控えた方がよいでしょう。空気が乾燥するとインフルエンザにかかりやすくなります。のどや鼻の粘膜防御機能が低下するためです。外出時はマスクを着用したり、室内では加湿器を使用し適度な湿度(50~60%)を保つとよいでしょう。日頃からバランスの良

い食事と十分な休養をとり体力や抵抗力を高めておきましょう。外出から帰ったら、うがい、手洗いも感染症の予防になります。励行しましょう。咳症状のある方は、まわりにうつさないためにマスクをしましょう。

インフルエンザと風邪(普通感冒)のちがいは

インフルエンザと風邪とは、原因となるウイルスの種類が異なります。通常の風邪は喉や鼻に症状が現れるのに対し、インフルエンザは急に38~40℃の高熱がでるのが特徴です。さらに倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状も強く、これらの激しい症状は通常5日間ほど続きます。また気管支炎や肺炎を併発しやすく、重症化すると脳炎や心不全を起こす事もあり、体力のない高齢者や乳幼児は命にかかわることもあります。インフルエンザは突如、強烈な流行が発生することが特徴です。「スペイン風邪」「香港風邪」最近では「新型インフルエンザ」が有名です。健康な人もインフルエンザにかかると本人が苦しい思いをするだけでなく、ウイルスをまき散らし周囲の人に感染する原因にもなります。十分な栄養を摂り、抵抗力を高めインフルエンザを撃退しましょう。(沼澤)

小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん並榎



月が出た出た 月が出た 三池
炭坑の 上に出た あまり煙突が
高いので さぞやお月さん けむ
たかる (サノヨイヨイ)
虫の音が秋を思わせるこの頃、皆
様方にはお変わりございませんで
しょうか。ケアサポートセンターよ
うざん並榎では、10月30日の
第5回ようざん秋祭りに向け着々と
準備を行っております。

ようざん並榎の出し物は、「北国の春」を発表いたしますので皆様
ご声援お願いいたします。また、レクリエーションの時間に秋祭り
で行う炭坑節を踊ってみると、皆様自然と体が動くようで、普段大
人しい方まで大きな声を出し、体を大きく動かし「掘って～掘って
～また掘って～」と一緒に踊っていただきました。

また、ドライブで少林山に行ってきました。大量に置いてある達
磨を見ると「うちの達磨もここに持って来ようかしら！」などと話され
ていました。全国の達磨の展示スペースもあり、県ごとの達磨の違
いに興味津々など様子でした。来月は少林山で菊花展が開催され
るので、是非足を運びたいと考えております。
これから季節を肌で感じられる楽しい行事を取り入れ、皆様に喜
んで頂ける様職員一同努力して行きたいと思っております。(今泉)



小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん



吹く風が爽やかで思わず笑顔になって
しまうような気持ちの良い日が続いてい
ます。時には、夏が逆戻り?と思ってい
まう日もありますが……。季節の変わり目
を感じる今日この頃、ようざんでは梨狩
りに行ってまいりました。大きく実った梨
は利用者様の内に眠る何かを目覚めさせ
たようで満面の笑みで梨を狩り、召し上

がっていました。梨をもぎ取る利用者様の勇姿は本誌でもご覧いた
だけですが、何と高崎広報にも写真が掲載されることが決まってお
り、そちらでもご覧いただけます。当日はオレンジリング（認知症
サポーター）ボランティアの方にもご協力いただき、無事に終える
ことができ、施設内では味わえない秋を皆様十分に楽しんで頂いた
ようでした。これから寒さが増していき、空気が乾燥していきます。
風邪やインフルエンザが流行りだす時期になりますので、利用者様
の体調はもちろんの事、職員も体調管理に注意して利用者様に快
適で健康な生活を過ごして頂けるように職員一同努力してまいりま
す。(上野)



ようざんの「第3回認知症介護事例発表会」は下記のURLで御覧いただけます。

<http://www.youtube.com/user/youzantube>

通所介護

デイサービスようざん並榎

10月に入りすっかり秋の訪れを感じるこの頃、皆様はいかががお過ごしでしょうか？暑かった夏も終わり、最近では晴れた日は積極的に外に出たり、はたまた読書などのインドア系の趣味に没頭したりする・・・そんな季節になりましたね。

さて、デイサービス並榎でもそんな素敵な季節を利用者様と共に感じ、お過ごしいただけるよう心がけています。

まずは制作ですが、柿をお花紙を使って作ったり、イチヨウともみじをかたどった壁画を作ってみました。個性が様々で大小様々なイチヨウやもみじ、柿ができそれらを組み合わせることにより素敵なものができました。みなさん時には真剣に、時には笑顔で協力していただき、やっぱりみんなでやる制作というものはいいものだと思つづく感じました。

続いてドライブでは一足先に群馬の森などへ行き、秋の先取りをしてきました。まだ、色は薄いもののドングリやマツボックリ拾いなどをすることができ、自然との触れ合いも堪能できました。

そして10月といえばなんといっても運動会！デイサービスでも10月10日にホール内ではありましたが運動会を実施いたしました。種

目は玉入れ、筒巻き、パン食い競争、アメ探しならぬマシュマロ探し競争。利用者の皆様とても笑顔で、そして時には真剣に参加していただき盛況に終えることができました。当日の小麦粉まみれの顔の職員の写真は恥ずかしいのでここには載せないでおきますね（笑）。デイサービスのホールには近々掲載する予定なので気になる方は是非見に遊びに来てくださいね。

あと10月といえばようざん並榎のビッグイベントとして30日（日）に秋祭りを計画しております。その日に向けてお花作りや看板作りなど利用者様の協力を得ながら準備を進めております。当日は各部署での演目や職員の出し物、また家族会の皆様協力によるバザーや松本梅征様による三味線演奏。高崎経済大学の生徒様による踊りなど内容盛りだくさんです。是非足を運んでみてくださいね。デイサービスの演目はまだナイショです（笑）。楽しみにしてくださいね。

これからも利用者様はもちろんのことですが、ご家族の方、地域の方、そして多くの方に喜んで頂けるよう、また「ようざんデイサービスは良い所だ」と認めて頂けるようなデイサービスを目指し職員一同励んでいきたいと思っております。（行方）



認知症対応型共同生活介護

グループホームようざん

秋も深まり、朝夕は冷え込むようになってまいりましたが、皆様にはお健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。残暑も終わり日中も過ごしやすくなり、散歩やドライブと室外に行ける日が多くなってきました。10月9日は十三夜ということもあり、利用者様と一緒にお団子作りをし召し上がっていただきました。楽しそうにお団子を丸められ、おやつに作ったお団子を「おいしい」と笑顔でいっぱい召し上がられたり「もう少し食べたい」とおかわりをされました。

10月12日には鼻高にコスモス祭りを見にドライブに行きました。綺麗なコスモスを見て「綺麗だね」と笑みがこぼれていました。日中との寒暖の差がありますので、体調管理をしっかりしていきたいと思えます。（春山）



通所介護

デイサービスぽから

朝晩の冷え込みが、厳しくなってきた今日このごろ皆様いかがお過ごしでしょうか？今回は、今月のぽからのレクリエーションをご紹介しますと思います。ぽからでは、只今ドライブを中心にさわやかな秋を満喫しております。玉村の公園や観音山、遠くは敷島公園や埼玉方面、ごく近くの群馬の森などなど。皆様に季節を全身に感じていただきたく、職員一同日々奮闘しております。そして、今月のメインレクリエーションのミニ運動会も、大笑いでお楽しみできました。「入れ歯が落ちちゃ

うよ～」のパン食い競争や、顔中粉だらけのマシュマロ探し、白熱の玉入れ合戦など数々の競技を、職員も一緒に参加し頑張りました。「久しぶりに大声出して、楽しかったよ」等のお声をいただきました。準備や盛り上げに頑張った職員も、お褒めの言葉をいただき大変嬉しいです。「ここへ来るとたのしいね～」「みんなに会えて嬉しいよ～」のデイを目指し、これからも頑張りますので宜しくお願いします。(芝田)



ぽから 運動会



訪問介護

訪問介護ぽから



ぽからの富越静子です。23年8月に入社し今月で三か月になりました。最初は不安と緊張でいっぱいでしたが、今では少しずつ慣れてきて心に余裕が出てきました。利用者様からも「また来てね」と言われ、少し自信が出てきました。笑顔を絶やさず安心できる生活を支え、支援できるスタッフでありたいです。よろしくお祈いします。

ようざんフォトサービス

ようざん通信には、ご利用者の笑顔の写真を沢山掲載しています。現像をご希望される方はスタッフにおっしゃってください。連絡帳に書いて頂いても結構です。L版のサイズに現像してお渡します。



23年11月イベントカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1 だるまの大門屋見学 (石原)	2	3	4 群馬の森ピクニック (飯塚)	5 前田せつ子ショー (貝沢) お化粧デー (双葉)
6	7 前田せつ子ショー (飯塚) 生け花の日 (双葉)	8 お茶会 (飯塚 GH) むつみ会 (栗崎)	9 お琴演奏 (石原)	10 南京玉すだれ (貝沢)	11 尺八・オカリナ演奏会 (栗崎)	12 南京玉すだれ (双葉)
13 南京玉すだれ (上並榎)	14 前田せつ子ショー (栗崎) 生け花の日 (双葉) 日本舞踊 (石原)	15 お化粧デー (双葉)	16 岡本ブラザーズ (栗崎)	17 前田せつ子ショー (双葉) 南京玉すだれ (飯塚)	18	19 前田せつ子ショー (石原)
20	21 前田せつ子ショー (上並榎) 生け花の日 (双葉)	22	23 松本梅しょうライブ (貝沢) 南京玉すだれ (石原)	24 松本梅しょうライブ (栗崎)	25 松本梅しょうライブ (栗崎) 日本絹の里見学 (石原)	26 ランチレク・寿司ケーキ (石原)
27 松扇会 (栗崎)	28 生け花の日 (双葉)	29 京ヶ島セブンハーモニー (栗崎)	30 南京玉すだれ (栗崎)			

